

野ばら 10月号



キリスト教について知りたい自分がいた

校長 夏見隆晴

今では、わたしの記憶も不確かなものなのですが、小学校の高学年でアメリカ人の女性宣教師によるバイブルクラスに通い、聖書の中によく知られた語句を英語で教えていただいたように記憶しています。その後、大学進学を目指す中高一貫校に入学して、キリスト教信者の英語担当の先生と出会い、先生が通っていた教会の礼拝にも連れて行って頂くようになりました。このころ憶えた讚美歌は、今も時に懐かしく思い出されます。

高校は同じ学園で理科クラブに属していましたが、思想や文化にも興味を抱くようになり、手当たりしだいに西洋文化や宗教に関する書物も読んでおりました。その中には、郷里の大先輩で東京大学総長も務められた矢内原忠雄先生の著作、同じく総理大臣の大平正芳氏の発言などに『聖書』に関するものがあり、キリスト教への関心を深めていく結果となりました。そんな折のことです、実家の近くにスペイン人の神父様がカトリック教会を建設し、イエス・キリストの教えを伝えてくれることになったのです。そこに私も参加し、聖書を読んだりキリスト教美術や音楽に関心を寄せたりしていましたが、結局はこのカトリック教会でイエス・キリストの教えと出会い、神父様から洗礼の恵みを受けることになりました。しかも神さまはわたしに、カトリックの大学に進学できるというお恵みまで用意してくれておりました。

進学した大学には、当時300人ものいろいろな国籍の神父様方が教えておられたそうで、興味があればどの神父様からでもキリスト教について教えていただけたので、洗礼を受けてまだ日の浅いわたしは、研究室に押しかけては専門のお話を伺い大いに視野を広げていただいたと懐かしく思い出しております。考えてみれば、今の日本で私たちが声を大にして唱えている「グローバリズム」が日々実践されていたのだと思うと、もっとあの時に勉強しておけばよかったと後悔することしきりです。でも勉強は「やる気さえあればいつでもできる」ということを教えてくださったのも、ご自身学び続けておられた神父様方であったと懐かしむことしきりです。そしてその学恩に深く感謝いたしております。

わたしが聖書に親むようになれたきっかけを作ってくくださったのは、源氏物語を教えてくださいました先生でした。大学での勉強の仕方をお尋ねすると、「大部の一冊を決めて何回も通読することだよ。それも大部なものであればあるほど良い、聖書の通読をしてみては」と勧めてくださったのです。実際に始めてみると、これは大変なことでも何度も挫けそうになりましたが、先生はタイミング良く「読んでいますか」と聞いてくださるので、「続いています」と答えていたため、実行せざるを得ませんでした。おかげで2回目の通読にも挑戦できるようになり、『聖書』への興味も広がっていきました。『聖書』理解のために『聖書思想事典』も手に入れ、これが「わたしの2冊」となりました。

「思う」と「考える」

音楽科 石垣真秀

「思考」＝思い＋考える事 ⇒ 心で思う＝心が決まっていくプロセス・覚悟することに繋がる
＋

頭で考える＝学んだことの蓄積によって常に変化する

この小さなメモは、先日私が中学1年生と2年生の学年朝礼の講話を依頼された時に書いたものです。少しそのことをまとめてここに書かせていただきたいと思います。

そもそもこういう内容を話そうと思ったきっかけは、金曜日の学年朝礼の前の日曜日の我が家の出来事からです。その日の出来事を書き始めると長くなるので、要約すると、4歳4ヶ月の息子が親と約束したことを、言葉では理解したものの、心で思うことができなかったために約束を守る必要のあるときに守る事ができずに心が痛んだ体験をした、というものでした。

そこで、学年朝礼の講話では、「思考」という言葉を引き合いに出して、頭を使い言葉で考えて理解することと、心に思うことを分けて考え、例えば、学校の宿題を始めると、途中で違うことを考え始めてしまい集中できない理由の説明として、「宿題をしなければならぬ」事を、頭で考えているだけの場合、何故その考えが移ろうのかという理由と、では、どのようにすればその考えが移ろわないかという、心で強く感じるようにする事、例えば先生が、自分が宿題をやることを心から期待してくれていて、それに応えたいと思うことで、その思いを強めることができる。そのように心で強く思う事は、なかなか移ろわないというような講話をしました。

そこから発展して将来の目標を見つけ出す事に関して、頭で考えるのではなくて、自分の心が何を求めているのかを思う事、なにか自分の人生において楽しい、心浮き立つ何かを強く思うことが必要というような事を、説きました。そしてそれが最終的には自分の人生に対する強い思い・覚悟、につながっていった、その時みなさんの人生は揺るがないものになるという話を結びました。

最近、金城幸政氏の書いた本を面白いと思いました。同氏もその本の中にそのような事を書いています。とてもおもしろいので、みなさんもどうぞ読んでみて下さい。



の行事予定

日・曜日	行事計画
10月5日(水)	委員会①
8日(土)	授業参観(午前) 教育講演会(午後)
11日(火)	10/8の振り替えて休み
12日(水)	職員会議
15日(土)	授業(クリスマス会活動 中学・高1)
17日(月)	第3回定期試験(中学:18日まで 高校:19日まで)
22日(土)	授業 学校説明会
25日(火)	中2修学旅行(～28日(金))

学校説明会を開催します

10月22日(土)、学校説明会を開催いたします。どうぞ、ご近所・お知り合いの方にご紹介ください。

9:15 ～ 受付

9:30 ～ 学校見学

10:00 ～ 説明会



生徒の頑張り！

☆English Festival

9月2日(金)に第8回 English Festival が行われました。前半のスピーチコンテストの部には各学年から2名の代表が選ばれ、夏休みに練習に励みました。その結果、

中学生の部:2年A組 ラザフォード ライアン ノボルくん

高校生の部:3年A組 リッジウェイ ソフィア 可奈子さん

が最優秀賞に選ばれました。応援ありがとうございました。



☆ゴルフ

中学2年A組 島袋 朝龍くん

第20回沖縄県学生ゴルフ選手権大会 中学生個人の部 優勝

第12回ジュニアゴルフ・カヌチャカップ 中学生男子の部 第3位



☆第53回中部地区児童・生徒科学作品展 銀賞

中学2年B組 伊佐 明香里さん

「太陽熱を調べよう」

伊佐さんは、来月開かれる沖縄県児童・生徒科学作品展へ出品します。

☆第43回中頭地区中体連陸上競技大会

中学3年A組 藤原 孝史郎くん

共通男子砲丸投げ 1位 記録 13m24

その他、中1女子100m、中1男子400mリレー、中2男子400mリレーが決勝に進出しました。応援ありがとうございました。

姉妹校の訪問がありました

9月24日(土)から、オーストラリアのキャロライン・チズム・カトリック・カレッジより生徒17名と引率の先生3名が来ていました。

ホームステイにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

